

製鉄記念室蘭病院の診療紹介

無料パンフ2種 内容充実



製鉄記念室蘭病院が診療内容を紹介する無料のパンフレットを充実させている。昨年度初めて作製し予想の3倍の6千部が患者らの手に渡った「診療ガイドブック」は、好評を受けて2018年度版を7月1日に発行した。今年初めて作製した「がん診療ハンドブック」は同病院の医師が書き下ろした。

(生田憲)

診療ガイドブックはA4判カラー56頁。各診療科で受診できる疾患や治療法、手術数などの実績を写真や図表付きで掲載している。医師は顔写真付きでプロフィールを掲載している。

イルを紹介し、得意分野や認定医資格の取得状況、外来で診察する曜日も記載した。

どのような治療・検査を受けられるか分かりやすく

がんの検査など医師執筆

増版も
18年度
好評で

説明することで患者の安心感を高めようと昨年7月に2千部発行し、好評のため2回増刷した。18年度版は4月に着任した医師19人の情報を盛り込み、診療実績を更新した。

がん診療ハンドブックはA4判カラー51頁で今年4月に発行した。がん診療に携わる同病院の医師約30人が分担して執筆した。胃がんなど15のがんについて、それぞれ症状や同病院で受けられる検査、治療の流れを解説している。

同病院は16年に地元紙のがん連載記事をまとめた無料パンフレット「がん治療の今」を作製した。だが2年が経過し「最新の内容を盛り込み、できるだけ分かりやすく」(前田征洋院長)と新しいハンドブックの刊行に取り組んだ。

両冊子とも5千部作製し、院内各所で配布している。同病院経営企画課は「どの診療科にかかればいいのかという不安を解消したい。家族に受診を勧めるのにも役立ててほしい」と話している。

製鉄記念室蘭病院のロビーで配布されている「診療ガイドブック」と「がん診療ハンドブック」